新　刊

□千原光雄（編著）：**藻類多様性の生物学**　386 pp. 1997. 内田老鶴圃. ¥9,000.

今世紀後半における藻類の知識の蓄積は著しく，それに伴い分類体系も大きく変革した．門だけでも新たに創設されたものに原核緑色植物門，灰色植物門，クリプト植物門，不等毛植物門，ハプト植物門，クロララクニオン植物門などがあり，綱に至ってはプラシノ藻綱，アオサ藻綱，トレボクシア藻綱，真正眼点藻綱，ハプト藻綱，原核緑藻綱，ラフィド藻綱など十指に近く，さらにクロミスタ界創設の提案などもあり，藻類を専門とする人達でさえその全貌を知るのは容易でない．千原光雄博士の編著になる本書はその要望に応えてくれる待望の書である．かつて同博士の研究室に関係をもった12名の専門家が執筆に協力し，藻類多様性の研究歴史から始まり，分子レベルの成果に基づく藻類の系統・進化の最近の情報，藻類を構成する11門，19綱について概説，細胞構造，生殖と生活環，色素組成，生理，生態，共生の問題，そして分類などを解説し，ときに海苔の栽培，海中林の物質生産などが記述される．さらに分類体系の変革が特に著しい緑色藻類については電子顕微鏡レベルの最近の知見が詳しく紹介されている．沢山の図，写真は理解を助け，豊富な文献はさらに知りたい人の良い手引きとなっている．進化・系統面だけでなく，環境問題や生理活性物質の探索など，広く藻類に興味をもつ人が最近多くなっている．それらの人々にとっても座右に置きたい本である．

（高原隆明）

□千葉県史料研究財団（編）・千原光雄（編集責任）：**千葉県の自然誌　本編4，千葉県の植物1-細菌類・菌類・地衣類・コケ類**　835pp. 1998. 千葉県史料研究財団. ¥9,700（税込，送料別）

本書は，千葉県史シリーズ（全51巻）の中の，「千葉県の自然誌」（12巻）の1つとして編集されたもので，県民を対象にシダ植物を除く千葉県下の全陰花植物群（ここでは広義に，細菌類，らん藻類，菌類，地衣類も含めて）の紹介をおこなっている．構成，記述は若い中・高校生から年配の県民まで，すべて年齢層の人が容易に理解できるように配慮されている．

本文は，第1章：細菌，ウイルス（55頁），第2章：菌類の生態（30頁），第3章：菌類（地衣類を含む）（47頁），第4章：藻類の生態（67頁），第5章：藻類（396頁），第6章：コケ類の生態（15頁），第7章：コケ類（59頁），事項索引，第1，3，5，7章において，個々の種についての解説がなされている．この巻の中で，最も力が込められているのは藻類に関する第4，5章である．章の中を藻が棲息する生態域の違いによって，「陸と淡水の藻類」と「海の藻類」の2つにわけて説明しているのは，一般市民はもとより，藻類学を専門としていない研究者にも理解しやすい配慮である．

全体を通して，一般県民が理解しやすいようにとの配慮はその膨大な写真（しかもその大多数はカラー写真で，かつ殆どがこの本のために撮影したものを使う大変な努力が払われている；編集者を各著者の熱意に敬意を表したい）の数に先ず端的に表れている．約1600葉の鮮明な写真と，225の解説図，57の表がつかわれ，視覚的に理解できるようになっている．また，使用した活字の大きさも誰もが容易に読める配慮がなされている．

この巻で紹介されている種は数千を越えるとおもわれ，個々の種には解説と写真または図が付されているので，図鑑としても一級品なのである．大学の専門コースの学生にも，あるいは種々の環境行政に関わる方々にも充分参考資料となり，地方の植物誌という枠を遙かに超えた，今まで見たことのない下等植物に関する充実した内容の本である．

購入の方法：千葉県内の方は県内の書店で購入できる；県外の方以下のところに申し込む：〒260-0013　千葉県中央区中央4-15-7　千葉県史料研究財団総務課（Tel 043-22-5100）．公費購入も受け付ける．（堀　輝三）